令和６年７月26日

令和6年度　水稲の生育状況及び栽培管理のポイント　No.3

大船渡農業改良普及センター
電話：0192-27-9918　FAX：0192-27-9936

1　水稲生育診断予察ほの生育状況（減数分裂期）

・　水稲生育診断予察ほの設置場所を変更したため、平年値は参考として記載しています。

表１　減数分裂期到達日（移植日：５月17日）

	あきたこまち	銀河のしずく	ひとめぼれ
本年	７月 21 日	７月 21 日	７月 23 日
平年※1	（７月 22 日）	（７月 21 日）	（７月 24 日）

※１　令和元年～令和５年の５ヵ年平均

2　気仙地域における出穂期について

・　気仙地域における出穂期は、平年より**約５日程度早まる見込みです**。
・　品種やほ場条件、今後の気象経過等によって出穂期は変動する可能性があります。

表２　出穂期予想

移植時期		５/６	５/11	５/16	５/21	５/26
出穂時期※1（予想）	大船渡※2	７/28	７/30	８/２	８/５	８/８
	住田※2	７/30	８/１	８/３	８/６	８/８

※１　品種：ひとめぼれ　移植時葉齢：2.5枚として算出
※２　アメダスの平均気温データを基に算出（観測地点：大船渡、住田）。7/24までは今年度の平均気温、以降は平年値を入力

3　今後の高温に備えた栽培管理

〈斑点米カメムシ類防除〉

・　**防除適期は穂揃期１週間後**です。出穂が早まることが予想されるため、生育をよく観察し、防除適期を逃さないようにしましょう。
・　防除日が適期から１週間以上遅れる場合は、防除時期を早めることが望ましいです。
・　出穂間際の草刈りは、カメムシを本田に追い込むので避けましょう。薬剤散布前に草刈りが実施できなかった場合は、**散布後１週間以内に草刈り**してください。

〈水管理〉

・　**出穂・開花期は、湛水管理**を心掛けましょう。ほ場が乾燥していると、穂の出すくみや不稔の発生につながります。
・　**登熟期は、間断かんがい**を基本とし、根に酸素を供給するようにしましょう。湛水２～３日→落水１～２日程度として、徐々に落水期間を長くしましょう。高温時の浅水での常時湛水管理は、根ぐされや稲の消耗を招く可能性があります。
・　登熟期の高温により、白未熟粒が多発する可能性があります。**高温が続く場合（日中30℃以上、夜間23℃以上）は、夜間の入水や水の入替頻度を多くする**等の管理を行い、水温・地温の低下をはかりましょう。

〈刈取りに向けた準備〉

・　出穂期が平年より早まる見込みのため、刈取適期も平年より早まる可能性があります。
・　今後の気象経過に注意し、早い段階から刈取りに向けた準備を始めましょう。

★★いわてアグリベンチャーネットメールサービス会員募集中（情報料無料）★★

農作物技術情報や農村地域の情報を幅広く提供する岩手県公式サイト「いわてアグリベンチャーネット」のメールサービス会員を募集します。登録方法は以下のホームページをご確認ください。

https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/mailinglist.html